

# ポスター 18 将来における廃棄物処理事業とは？

## 将来の廃棄物処理事業に影響を及ぼす主な制約条件

廃棄物処理事業に影響を及ぼす制約条件は時代とともに変化します。また、地域によって制約条件は様々ですが、国内では一般的には以下の制約条件が将来的に懸念されています。

- 人口減少・人口の偏在化による廃棄物処理量の減少と処理効率の低下
- 少子高齢化によるごみ質の変化とごみ排出方法、処理体制の見直し
- 財源不足による廃棄物政策への投資制約

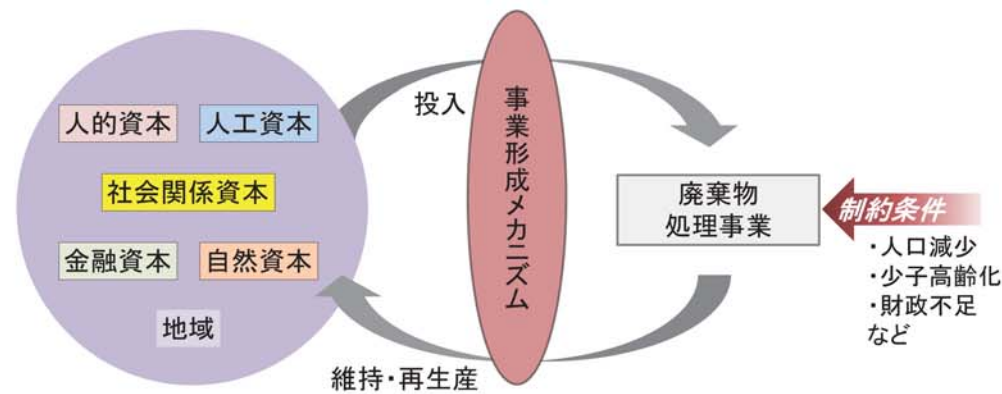
## 先進事例における特徴

国内の廃棄物処理事業に関する先進事例を調査した結果、以下の特徴が抽出できました。

- 新たなニーズ(≒制約条件)に対する付加価値形成・効率化  
エネルギー利活用、防災拠点化、福祉的視点、処理コスト削減、地域振興、地域ブランド化
- 手段としての主体間連携  
広域、動脈(セメント、電力、鉄鋼、製紙)、静脈(下水、産廃)、他分野(福祉、教育)

## 地域の資本を元にした事業形成メカニズム

付加価値の形成や価値生産の効率化、主体間連携といった先進事例にみられる特徴を事業形成メカニズムと言い換えた場合、様々な資本の事業形成メカニズムへの投入、維持・再生産を繰り返すことによって持続可能な廃棄物処理事業が形成されると考えられます。



### 各資本の維持・再生産のための具体的要件の一例

|  |  |
|--|--|
| <b>【人的資本】</b><br>・人材確保・育成と継承(事業体)  | <b>【人工資本】</b><br>・地域内産業連携<br>・社会インフラ基盤の活用・維持 |
| <b>【社会関係資本】</b><br>・主体間交流・ネットワーク化<br>・社会的弱者等への配慮<br>・情報共有と見える化<br>・排出者責任行動促進<br>・地域内雇用創出 |  |
| <b>【金融資本】</b><br>・好条件での資金調達<br>・安定した事業収入<br>・事業多様化による相互補てん性                              | <b>【自然資本】</b><br>・低環境負荷<br>・自然・文化等の活用・保護     |

### 事業形成メカニズムの一例

|  |
|--|
| ・周辺自治体間の広域連携<br>・動脈産業との連携<br>・静脈産業との連携<br>・民間活力利用による事業効率化<br>・地域コミュニティ等の市民力の活用<br>・エネルギー供給・地域振興・産業創成<br>・低炭素化事業としての付加価値化<br>・防災拠点としての付加価値化<br>・社会福祉部門との連携<br>・学校教育との連携 |
|--|

### 先進事例1 生ごみメタン発酵/地域振興



- 町の中心に立地
- 厨芥・し尿浄化槽汚泥・メタン発酵
- 発電・液肥の農業利用
- 直売所・レストラン隣接

### 先進事例2 民間委託/可燃ごみ燃料化



- 可燃ごみの有効利用
- 民設民営
- 直接焼却からの脱却
- 産廃プラ・紙との混合燃料化、製紙燃料

### 先進事例3 防災拠点化/住民合意形成



- 過密地、市役所に隣接
- 防災拠点
- 災害時の周辺公共施設へのエネルギー供給
- 住民合意形成